

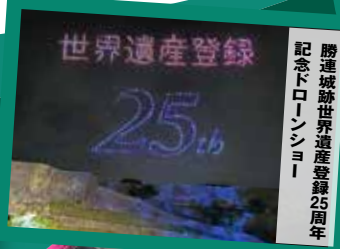
う り ま 市議会 だより

る

ま



うるま市立津堅保育所開所式のテープカット



勝連城跡世界遺産登録25周年記念オンラインショー



イチチぬ島フェアでの演舞



かっちゃん南風原まつりでの子供たちのダンス

題字を書してくれた生徒

うるま市立伊波中学校

うるま → 外間
市議会 → 城野
だより → 石原

こはる
心桜
まりな
真利那
りあ
梨愛

Vol.84

令和8年

2026年6月1日

市議会のこと、 もっと知りたい

contents

- 令和8年度当初予算を可決…………… P2
- 本会議での主な質疑…………… P3
- 本会議での主な討論…………… P4~5
- 公表します議案の賛否(2月定例会) …… P6
- 議決結果(2月定例会) …… P7
- 「市政に反映」一般質問 29の視点(2月定例会) …… P8~22
- 常任委員会の審査概要(2月定例会) …… P23
- 意見書の要請事項・編集後記 …… P24



平安座サングワチャーにて島内を練り歩く

うるま市議会では広報に関するアンケートを実施しています。QRコードからご回答いただけます。貴重なお意見をお聞かせください。



令和8年度一般会計予算などを可決

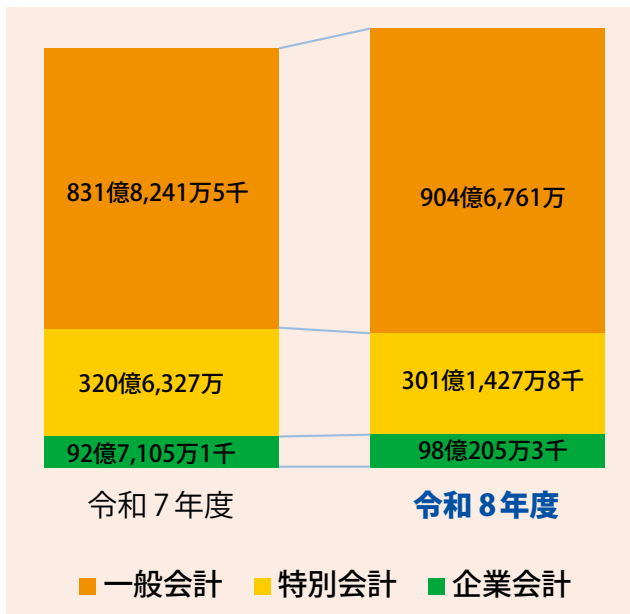
令和8年2月第187回定例会において提案された、令和8年度一般会計予算（総額904億6,761万円）は、本会議での採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

そのほか、令和8年度国民健康保険特別会計予算や介護保険特別会計予算など、補正予算を含む14の予算やうるま市火葬場条例やうるま市手数料の特例に関する条例などの条例制定・改正議案等を採決し、提案された議案はすべて原案可決（承認）されました（P7参照）。

令和8年度当初予算総額 1,303億8,394万1千円

令和8年度当初予算の規模

（令和7年度の比較） 単位：円



■一般会計

福祉や教育、経済や建設など市の基本的な施策を行うための予算
前年度比 72億8,519万5千円の増額

■特別会計

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、うるま市沖縄県消防通信指令施設運営協議会事業
前年度比 19億4,899万2千円の減額

■企業会計（収益的支出及び資本的支出の合計）

水道事業会計、下水道事業会計
前年度比 5億3,100万2千円の増額



▲導入された手術支援ロボット「da Vinci XI」。
細かい作業が可能で、通常の手術に比べ出血や痛みが少なく、難しい手術に対応可能。特に前立腺がんにおいて周辺組織への影響が少なく、後遺症の軽減が実現されている。

議会活動その後どうなった？

うるま市議会では、令和4年2月定例会にて県立中部病院の医療体制の強化等を求める内容の陳情を採択し、それに伴い発議された「県立中部病院の医療体制の強化・充実を求める意見書」を全会一致で可決。沖縄県知事宛てに同意見書を提出しました。

その後、県立中部病院から、令和6年に意見書の要請事項のひとつである「施設の整備、ロボット支援手術を導入すること」が達成され、運用開始から1年経過したとの報告がありましたので、ご紹介いたします。

本会議での主な質疑（令和8年2月第187回定例会）

議案第9号
令和8年度ふるま市
一般会計予算

Q 真栄城隆議員 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、今後も物価が上がる中で、追加の支援策検討や、必要に応じて柔軟な事業見直しの考えがあるのか。あわせて、補正予算として活用可能な残額はどれくらいか。

A 物価は今後も上昇する可能性が見込まれる中、市民生活、事業活動にどのような影響が及ぶのかを注視しつつ、必要に応じて事業の見直しや追加対策などを行いたい。また、残額は3億4,775万5千円となっており、当該財源の活用を踏まえて追加対策等を検討していく。

Q 宮城一寿議員 勝連・与那城地域まちづくり推進事業、1億4,062万円について事業内容の説明を。

A 先進地視察等に係る特別旅費として42万円、業務委託料として、旧与那城庁舎周辺の利活用に向けた検討調査業務に1,970万円、県道37号線沿道及び海中道路ロードパークの利活用に向けた検討調査業務に2,030万円、県道37号線沿道の樹木の伐採業務に3,300万円、伐採に伴う飛砂調査業務に720万円。工事請負費として東照間商業等施設機能強化整備工事に6,000万円を計上している。

Q 金城加奈栄議員 仲嶺上江洲線整備事業については、どういった補助金を活用しているのか。防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用し、8割の補助を充当している。

Q 上西真理議員 令和8年度の防犯対策事業に令和7年度計上の防犯カメラ保守管理業務委託料の計上がないことについて。また、カメラの変更や今後の設置予定はあるかについて。

A 防犯カメラ保守管理業務は、防犯カメラの定期点検や故障時の修理・部品の交換、機器の清掃などを実施するため契約しているが、平成29年度に整備した防犯カメラは、耐用年数を経過し、部品生産が終了するなど事業継続が難しいことから予算計上は行っていない。今後の設置予定等については、公共用地等に自動販売機を設置し、その収益を活用することで防犯カメラの設置及び保守管理を行える事業を試行的に実施することとしている。防犯カメラの管理負担やラニングコストを軽減できる利点を生かし、不具合のあるカメラから順次更新を検討していく計画となっている。

Q 仲程孝議員 石川地域まちづくり推進事業業務委託料1億1,800万円について、前年度約4,500万円から倍増しているが、その要因は。

A 同事業では、今年度に石川インターチェンジ周辺と石川庁舎周辺における利活用に向けた調

査業務を実施してきたが、石川インターチェンジ周辺においては、交通・交流拠点の構築に向けて、用地取得に向けた事務手続きにも着手している。令和8年度は、用地鑑定、物件補償調査、さらには、道路の概略設計、交差点設計、県道を横断する橋梁の概略検討調査、用地測量など、民間活力検討調査に加えて、事業化に向けたインフラや構造物の設計業務にも着手するため、業務委託料が前年度比で増加したと考えている。

Q 伊盛サチ子議員 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取組内容、任用職員体制、実施期間について。

A 当該事業は、県後期高齢者医療広域連合の計画に基づき、通いの場におけるポピュレーションアプローチと、健康診断結果からハイリスク者を抽出して支援するハイリスクアプローチを行うもの。任用職員体制については、事業の企画・調整担当として職員1人、高齢者に対する支援として兼任職員4人。実施期間は、県後期高齢者医療広域連合との受託契約に基づき単年度実施となり、令和3年度から継続的に行っている。

Q 平良一雄議員 文化財環境整備事業5,461万6千円の事業内容を伺う。

A 沖縄戦後初の政治機構の施設として使用された沖縄諮詢会堂跡の不動産鑑定手数料及び物件補償調査費や市内伝統文化芸能

団体のデータ記録保存などの業務委託料である。また、勝連城跡周辺の繁茂している樹木の伐採・剪定を行う環境整備工事を行うなどの工事請負費である。

Q 糸数昌宗議員 農林水産業活性化パートナーシップ事業の内容を伺う。

A 当該事業は、本市の農林水産物の魅力発信や販売促進、さらに地域が抱える課題の解決に向け、地域の農林水産業振興を目的とした事業である。

Q 高屋優議員 石川団地周辺整備事業1,280万円の事業内容を伺う。

A 令和8年度は、令和7年度に策定した石川団地周辺整備基本計画を踏まえ、施設整備を効率的かつ効果的に実施するため、民間活力の導入を含めた最適な事業手法を検討する。導入可能性調査を実施する。

※その他「議案第26号 津堅島定住促進住宅建設工事（建築）請負契約について（質疑者：国吉亮議員ほか）」等、複数の議案に対して様々な質疑が行われました。詳細な内容については、QRコードから議会議録画像映像をご参照ください。



議録映像
ページへ

(令和8年2月第187回定例会)

発議第4号
選択的夫婦別姓制度の導入に関し
て慎重な対応を求める意見書

▼反対討論
【仲根孝 議員】

我が市議会は、令和元年に選択的夫婦別姓の法制化を求める意見書を衆議院議長等に発出。今回の慎重な対応を求める意見書を採択することは、当時の発議から意見が後退する懸念があり反対する。私自身、当時の意見書に賛同し現在も変更はない。法務省では、結婚後にいずれかの氏を強制で選択する国は日本だけとし、法制審議会が96年に、選択的夫婦別姓導入改正を答申してから27年が経過してもなお未改正。裏を返せば、27年間議論をしてきた。また国連から選択的夫婦別姓の導入勧告があるが、未実施のため国際社会で孤立する可能性も。通称使用拡充も言及があるが、拡充では、相続権や税の優遇が認められないなどの課題が残る。また旅券等は戸籍名に限られ、通称併記では海外で理解されない。二重氏名は当事者の信頼に関わり課題は残る。家族の絆や社会的安定を損なう恐れが強いとあるが、日本以外の夫婦別姓の国々では、家族の絆が築けず社会制度が不安定と言っているのか。私は夫婦別姓の主張ではなく、別姓も選択できる社会こそが多様性を認める社会につながる、目指す姿だと信じている。令和元年に本市議会に夫婦別姓導入の請願を出した市内女性は、県議会の参事者招致に、結婚を考えている男性と同席をし、「相手の男性にあなたの氏になるように説得ができないか」と言われ、「自分がしたくない改姓を愛する人にしてもらうのは、罪悪感で押しつぶされそうになる」と答えている。このように、選択的夫婦別姓の問題は人権問題だと私は捉えている。

▼賛成討論
【上西真理 議員】

導入への懸念について、1点目に、戸籍制度の信頼性と本人確認の困難化である。日本の戸籍は、国が証明する精緻な制度で、名字が家族識別機能を失えば、公的証明としての信頼性は低下する。2点目に、社会への影響として名字が家族単位で統一されなければ、なりすまし犯罪や相続調査の複雑さ、税の徴収といった実務にて、時間と労力がかかる。3点目に、子供への影響として夫婦別姓の場合、子供は名字を選ぶ必要があり、大人を優先した行為。4点目に、うちなー独自のムンチュー制度と先祖供養への危惧として、沖繩社会はムンチュー中心の強い絆と先祖を敬う心で支えられ、特にムンチュー墓やトートローメーの継承は代々同じ氏を受け継ぐことで成り立つ。選択的夫婦別姓により、一つのムンチュー墓に異なる名字が混在し、父系の血統を重んじてきたムンチューの在り方に大きな混乱をもたらす。地域の大切な伝統文化を壊す恐れがある。結びに、すでに仕事の場合などで旧姓併記が普及し、不便の多くは、実務上の運用で解決可能。残る課題があれば、今の制度を維持したままで、さらなる解決策を図れる。一般社団法人全国銀行協会の指針などにより、多くの銀行で戸籍姓(旧姓)という形で口座開設や通帳は発行可能。また、大多数が賛成という数字の声も世の中にはあるが、実際に自分自身が別姓にしたいという人は、数パーセントから10%程度という調査もある。国の一貫した制度を廃止し、戸籍の機能を弱め、さらには、うちなーの大切なムンチュー文化を危機にさらす懸念がある。

▼反対討論
【国吉亮 議員】

本日前、議会運営委員会にて文案調整などが行われ、正式に本日もって発議第4号の取扱いが決定した。その後、全員協議会で内容を確認するという流れであった。手続的に問題はないが、丁寧さに欠ける提出である。本来発議とは、当事者との意見交換、様々な調査研究等を行い、慎重に提出するのが一般的。だが今回、事前に題名、内容の変更があり、事前準備が不十分だった懸念がある。今回、当該制度を進めたいという当事者と意見交換をした。別姓夫婦家庭で育った子供たちの声を紹介する。「意見書に③子供の利益とアイデンティティへの配慮という項目があるが、これは実際に夫婦別姓の家庭で育った子供の意見を反映したものだ。私たちは、沖繩の夫婦別姓家庭で生まれ育った。大人になる過程で精神的負担はないし、子供の福祉に逆行するような出来事は一度も経験していない。まずは議会の前に当事者である私たちの声を真摯に受けとめて。合意形成に向けて動くのが政治家の務めではないか。地方自治体や国民の多様な意見を集め納得感のある結論に至ることを掲げているので、総理等に提言する前に、市や県の別姓家庭の子供たちの声を聞くことが先では。地方自治体として、当事者の声を無視することなく、議論を前進することを期待する(要約)。今回慎重な対応とあるがむしろ、選択的夫婦別姓を望む方が、現在進行形で、抱えている不利益が温存され続けることになると思ふ。また、全国に選択的夫婦別姓導入について前向きな議会もある。本市議会でも、当事者の声を聞き尊重し、暮らしやすい社会の形成が必要。直接当事者に会って、その人の声を聞いて、意見書の中に思い・中身・気持ちを届けることが、議員として私は一番大事だと思う。

▼賛成討論
【神田洋一 議員】

特に二つの観点から慎重に考える必要がある。一つ目は、旧姓使用の現状。提出者が説明したとおり、現在は住民票やマイナカードなどで旧姓併記が可能で、各分野において環境整備は着実に進んでいる。一方でなお改善の余地も指摘され、政府でも利便性向上の見直しが進められている。まずは実務的な対応を積み重ねていくことが重要。その上で、家族制度に関わる重要な制度変更は、その必要性も含めて、十分に検討する必要がある。あわせて、我が国には親族関係を公的に証明する戸籍制度があり、行政実務の正確性や各種手続きの信頼性を支える、社会基盤として大変重要。制度の見直しにあたっては、こうした機能も十分に考慮する必要がある。二つ目は、中間共同体と社会関係資本の観点。「中間共同体」とは、国と個人の間にある家族や地域といったつながりのことを指し、「社会関係資本」とは、人と人との信頼関係や助け合いのつながりのこと。例えば、困ったときの家族の支え合いや、地域で声をかけ合い、助け合う関係がこれに当たる。こうした信頼やつながりは、家族や地域といった中間共同体の中で育まれる。日本は、家族を基盤として地域や社会へとつながる構造を持っていて、この積み重ねが社会の安定、支え合いを生んできた。家族の在り方は、単なる個人の問題にとどまらず、社会全般の基盤に関わる。現に、うるま市民の代表である本市議会でも推進と反対で二分している。だからこそ、制度の変更には、社会の信頼やつながりという視点も踏まえて、まだまだ丁寧な議論を重ねていくことが重要である。

掲載した内容は要約・一部抜粋です。詳細についてはホームページから議会録画映像をご覧ください。

本会議での主な討論

▼反対討論

【山城良太 議員】

まず本意見書に示されている戸籍制度への影響や社会的コスト、子供の福祉への懸念は、重要な論点であり、慎重に議論する必要がある。しかし、現行制度では、結婚の際、夫婦のいずれかが必ず姓の変更が必要で、その多くを女性が担っている。実際に、約9割以上が夫の姓を選択しており、制度上は中立でも、結果一方に大きな負担が偏っている状況。これにより、これまでの仕事上の実績や信用の継続に影響が生じるほか、資格や契約、金融関係など煩雑な手続きが発生し、負担となり課題である。さらに、国際的に見ても、夫婦同姓が義務な国は日本のみとされており、多くの国では、同性別姓を選択できる制度が採用されている。これは結婚と個人の名前を切り離して考えることが、国際的には一般的と考える。一方で、家族の一体性や子供への影響についての懸念も理解する。しかし、家族にとって最も重要なことは、子供たちに愛情が伝わり、安心して成長できる環境。姓が同じか否かをもつて、家族の絆や健やかな成長は左右されない。きつと、家族の本質は、日々の愛情と信頼にある。また、現実社会では、離婚や再婚、事実婚などにより、すでに親子で姓が異なる家庭は存在し、学校や行政の現場でも対応されている。当該制度は、同姓を望む方々の選択の否定ではなく、あくまで希望者に、選択肢を広げる制度。価値観や家族感を尊重した上で、新たな選択肢を加えるものであり、課題があることを理由に立ち止まらず、課題があるからこ前に進め、制度は人の幸せのためになる姿勢が、私たちに求められている。

▼賛成討論

【下門勝 議員】

私は令和元年当時、賛成の立場だった。現在は慎重であるべきとの判断。本発議に賛成。本発議は単なる価値観の対立ではなく、法制度と社会基盤の安定性に関わる重要な提起。市民の皆様にも議論を深めて自分で考えてほしいという思いがある。第1に戸籍制度は夫婦同姓が中核。戸籍は婚姻、親子関係、相続等法的関係を迅速、正確に証明する社会インフラ。別姓導入は根幹の構造変更を意味する。第2に選択的夫婦別姓は影響が限定的との主張があるが、行政、地方、金融、教育、医療等で対応が必要。医療現場では家族や同意権限を確認する必要があり、手順が複雑化し高リスク。第3に子の氏決定という問題に社会的合意形成が不十分。先の討論でも「子供たちの意見を聞いて」とあったが、別姓で育った方もそうでない方も全て聞く必要があり、より慎重になるべき。第4に諸外国との比較で、戸籍中心に家族関係を管理する国はまれで、戸籍の有無等前提条件が異なる。他国の仕組みの一部導入ではなく、整合性検証が不可欠。制度変更に伴う莫大なコスト、期間の問題も。基幹システムの改修、法制度、民間にも多大な影響。特に沖縄にはムンチュウ制度、同じ祖先を持つ父系の血縁、親族中心に成り立つ社会制度、風土がある。私はそれを守りたいという気持ちも強くある。夫婦別姓についての数字があったが、内閣府調査によると、令和4年調査で、当該制度の導入に賛成が28.9%である一方、同姓制度維持に賛成、そして、同姓制度を維持しつつ通称使用法制化に賛成が合計69.2%。現制度支持の調査結果もある。本件は拙速に結論を出すべきではなく、現行制度の安定性と社会的意義を十分に考慮し慎重な対応を求めらる。

▼反対討論

【真栄城隆 議員】

本意見書は、慎重な対応を求めるとあるが、制度導入を抑制し、多様な生き方や個人を尊重する社会の流れに強い抑制をかける内容となっている。当該制度は、あくまで希望する夫婦に選択肢を与える制度である。従来の夫婦同姓を否定しない。各々の価値観に応じた選択ができる。第1に戸籍への影響について、戸籍は我が国の重要基盤だが、社会変化に応じて見直されてきた制度。当該制度は、戸籍を否定せず現在の多様な家族に対応する調整で、冷静・具体的な制度設計で十分に対応が可能。第2に社会的コストや混乱への懸念について、制度変更には対応が必要だが、すでに旧姓通称使用が認められ、現場では柔軟な運用がされ、むしろ現行制度で生じる不利益に注目すべき。制度整理が社会の簡明さや公平性につながる。第3に子供への影響。本意見書では強い懸念があるとするが、大切なのは姓以上に子が安心・成長できる家庭環境や社会的理解が必要。多様な家族を認める社会こそがより生きやすい環境につながる。第4に、通称使用の拡充だがこれは一定の役割を果たしているが、法的な氏との不一致による不便が残存。さらに、産業界や労働界からも前向きな意見が示されている。企業活動では、人材の活躍やイノベーションの創出、企業価値の向上につながる指摘がある。労働者から個人の尊厳や人権の課題として、本制度の支持も上がっている。この動きは単なる制度論にとどまらず、社会全体が多様性を認め、生き方を尊重する流れである。議論が不十分として、結論を先送り続けることは、現に不利益を受けている方々を固定化。求められるのは、多様な価値観を尊重し、よりよい制度の在り方を前向きに検討していく姿勢である。

▼賛成討論

【國場正剛 議員】

当該制度の導入は、個人の尊重や多様な生き方の観点から理解できる一方で、制度への影響を軽視すべきではない。従って、拙速な導入には反対しつつも、慎重な審査と議論を前提に検討すべき。まず、現状維持の理由は、家族単位の一体感や社会的わかりやすさへの影響。現制度では、同姓を名のることで家族関係が対外的にも明確になり、行政手続きや教育、医療等の面で円滑な運用が可能。別姓が広く認められた場合、実務上の混乱が生じる可能性も。また、子の姓の扱いも慎重な検討が必要。夫婦が別姓を選択した場合、子がどの姓を名のるのか。家族内の別姓による心理的、社会的影響は検証が不十分。子の不利益がない制度設計が不可欠。一方で結婚に伴う改姓により、経歴上の不利益や自己同一性の喪失を感じる人がいるのも事実。課題は軽視せず、旧姓通称使用の拡大等の現行制度の中での対応も含め、現実的に検討する必要がある。選択的夫婦別姓は、理念は理解できるが、制度導入には課題が多いのが、現時点の妥当な評価。従って、具体的影響や運用の問題を丁寧に検証し、国民的な合意形成を図ることが不可欠。これらのことから、選択的夫婦別姓には一定の理解を示しつつ、なお課題が多い。拙速な制度変更は避け、まず現行の下で対応を充実させ、引き続き検討を重ねるべきで、現状維持が妥当。今回、多くの同僚議員が討論した。反対討論も賛成討論もしかりと、私は皆さんの意見を聞いて感じるし、多くの議員もそうではないかと思う。私は賛成の立場なので、皆様の討論を聞き、より慎重な検討が必要ではないかと感じている。

議会でより第83号P4本会議での主な討論の記載に一部誤りがございました。

2段目 金城加奈栄議員の記事中 誤：無支出 → 正：県支出 訂正してお詫び申し上げます。

第84号

令和8年2月第187回うるま市議会定例会 議決結果

議案番号	案 件 名	提出者	議決日	議決結果
報告第1号	専決処分の報告について（車両事故）	市長	令和8年	報告
報告第2号	専決処分の報告について（車両事故）	〃	〃	〃
報告第3号	専決処分の報告について（庁舎西棟直流電源及び非常用発電設備改修工事）	〃	〃	〃
承認第1号	専決処分の承認について（令和7年度うるま市一般会計補正予算（第7号））	〃	3月24日	承認
議案第2号	令和7年度うるま市一般会計補正予算（第8号）	〃	3月13日	原案可決
議案第3号	令和7年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃	3月24日	〃
議案第4号	令和7年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	〃	〃	〃
議案第5号	令和7年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第4号）	〃	3月13日	〃
議案第6号	令和7年度うるま市水道事業会計補正予算（第3号）	〃	〃	〃
議案第7号	令和7年度うるま市下水道事業会計補正予算（第4号）	〃	〃	〃
議案第8号	令和7年度うるま市沖縄県消防通信指令施設運営協議会事業特別会計補正予算（第1号）	〃	3月24日	〃
議案第9号	令和8年度うるま市一般会計予算	〃	〃	〃
議案第10号	令和8年度うるま市国民健康保険特別会計予算	〃	〃	〃
議案第11号	令和8年度うるま市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃	〃
議案第12号	令和8年度うるま市介護保険特別会計予算	〃	〃	〃
議案第13号	令和8年度うるま市水道事業会計予算	〃	〃	〃
議案第14号	令和8年度うるま市下水道事業会計予算	〃	〃	〃
議案第15号	令和8年度うるま市沖縄県消防通信指令施設運営協議会事業特別会計予算	〃	〃	〃
議案第16号	宮城・伊計辺地に係る総合整備計画の変更について	〃	〃	〃
議案第17号	土地の処分について（うるま市石川地内）	〃	〃	〃
議案第18号	指定管理者の指定について（いちゅい具志川じんぶん館）	〃	〃	〃
議案第19号	指定管理者の指定について（うるま市IT事業支援センター）	〃	〃	〃
議案第20号	うるま市立学校施設等使用料に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第21号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について（上江洲公園）	〃	〃	〃
議案第22号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について（志林川公園）	〃	〃	〃
議案第23号	うるま市都市公園を設置すべき区域の決定について（平良川公園）	〃	〃	〃
議案第24号	うるま市市道路線の廃止及び認定について	〃	〃	〃
議案第25号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	〃	〃	〃
議案第26号	津堅島定住促進住宅建設工事（建築）請負契約について	〃	3月13日	〃
議案第27号	津堅島定住促進住宅建設工事（電気）請負契約について	〃	〃	〃
議案第28号	沖縄県消防指令センター全体更新等整備事業（設計・建設工事）請負契約についての議決内容の一部変更について	〃	〃	〃
議案第29号	うるま市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	〃	3月24日	〃
議案第30号	うるま市公告式条例及びうるま市行政手続条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第31号	うるま市手数料条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第32号	うるま市介護保険条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第33号	うるま市附属機関設置条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第34号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第35号	うるま市手数料の特例に関する条例	〃	3月13日	〃
議案第36号	うるま市火葬場条例	〃	3月24日	〃
議案第37号	うるま市学習等供用施設その他の施設条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第38号	うるま市地域交流センター条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第39号	うるま市地区計画の区域内における建築物及び緑化率の制限に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第40号	うるま市水道事業給水条例及びうるま市下水道条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第41号	うるま市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第42号	うるま市火災予防条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第43号	うるま市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第44号	うるま市行政不服審査会条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第45号	うるま市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃
議案第46号	新石川調理場整備運営事業事業契約についての議決内容の一部変更について	〃	〃	〃
発議第1号	うるま市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例	議会運営委員会 委員長 大城直	〃	〃
発議第2号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書	市民経済委員会 委員長 兼本光治	〃	〃
発議第3号	有機フッ素化合物（PFAS）による汚染源の特定と根本解決を求める意見書	〃	〃	〃
発議第4号	選択的夫婦別姓制度の導入に関して慎重な対応を求める意見書	天願こうや議員 外11名	〃	〃
陳情第16号	健康保険証の存続を求める陳情	—	〃	不採扱
陳情第26号	国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税（料）引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める陳情書	—	〃	趣旨採扱
陳情第52号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情書	—	〃	採扱
陳情第54号	選択的夫婦別姓制度の導入に反対することを求める陳情	—	〃	不採扱
陳情第56号	有機フッ素化合物（PFAS）による汚染源の特定と根本解決を求める陳情書	—	〃	採扱

3月11日から3月19日の7日間、2月定例会における一般質問が行われ、29人の議員が質問しました。

今回は「施政方針」や「教育・福祉の充実や子育て支援」「道路・公園・排水路等の整備」「消防・防災行政」など、市の一般事務に対して質問がありました。

市政に反映

皆さんの声

掲載文は、各議員の質問と執行部の答弁を簡略にしたものです。実際には多岐にわたる内容となっています。各議員の真剣な質問と執行部の誠意ある答弁は**録画中継**をご覧ください。



録画映像
トップページへ



議長 **比嘉 直人**

『一般質問』は、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、質問を求め、又は疑問をただすことをいいます。

一般質問



電池処理

こうき いさむ
幸喜 勇 議員 (かけはし)

中部北環境施設で一時保管のリチウム蓄電池等の処理は

答弁…県内処理事業者と令和8年度内に契約締結する見込み



直近の公園整備計画

◎上江洲区、平良川区、志林川区の公園整備の進捗状況と今後の計画を伺う。

▲(名嘉屋都市建設部長) 各地域自治会との意見交換を行い、実施設計業務を令和7年度完了。令和8年度から令和9年度にかけて、各公園予定地の用地取得を進め、令和10年度からは工事に着手する予定。

停電や断水時のごみ出し

◎停電や断水時は溶融炉を停止することだが、市民への周知方法を伺う。
▲(松岡市民生活部長) 中部北環境施設組合より稼働停止の連絡を受けた後、環境政策課窓口のほか、市公式HP及び市公式LINE等で必要な情報を配信。

土地利用計画

◎土地改良事業実施地域内でダム水を活用できる農地で遊休地の箇所を重点に貸借契約することで、遊休地解消につながり、農家支援にも寄与すると思うが、当局の見解は。
▲(田場農業委員会事務局長) 土地改良区と農業委員会の連携体制をより一層深めて、遊休地解消に取り組んでいく。

◎農地転用の可否によって市民が自分の土地を利用できるか否かに関わる令和2年度の農家の割合は約1.15%で現在ではもっと減っていると思う。令和6年度の農地面積の割合は約24.4%なので、今後は土地利用計画を見直す必要があると思うが、市長の見解を伺う。
▲(中村市長) 農業を支える優良農地の保全を行っていき、本市のまちづくり計画や各プロジェクトの考え方も踏まえながら、都市的土地利用に適した地域において土地利用の見直しの可能性も早急に検討していきたい。

いとかず まさむね

糸数 昌宗 議員 (新政クラブ)

学校給食無償化財源確保や制度整備を進めるべきと考える

答弁…国・県の補助制度と併せて活用することで無償化を実施

学校給食



防犯灯

◎全面的な市管理が直ちに難しいというのであれば、少なくとも、老朽化した支柱の撤去、台風で破損した防犯灯の緊急対応、通学路等の危険箇所の修繕など、安全確保に直結するものについては、市が優先して直接対応する仕組みを設けるべきではないか。

▲(松岡市民生活部長) 防犯灯に関する安全確保は重要な課題であると認識している。現在は、自治会等が管理主体となつて対応してもらっている。御提言の市による優先的な対応の仕組みについては、他自治体の事例等を参考にしながら、今後の課題として調査・研究していきたい。

◎防犯灯の公共性と自治会負担の大きさは認められたものの、結論は今後、調査・研究することとどまっている。調査・研究と言つても早ければすぐ形になる。長ければ何年も動かないこともある。これまでの答弁で私は部

長の本気度と本音が見えない。自治会は困っている。最後に部長の本気度と本音を伺う。

▲自治会加入率の低下や高齢化が進み、財源の確保を含む運営は大変苦しいものと理解をしている。自治会加入率が20%を下回る自治会も同様な状態であると認識をしている。しかし、先述したこれだけ多くの予算と6年間という歳月をかけ整備してもらつた自治会の財産を行政へ移管する判断は容易なものではない。担当部長としては、この課題・問題への多くの議員の皆様からの御要望及び市民の安全・安心な暮らしを実現するためにも、喫緊の課題として、速やかに取り組んでいきたい。

※その他「道路行政」「教育行政」「福祉行政」「市民からの要望」について質問しました。

◎防犯灯の公共性と自治会負担の大きさは認められたものの、結論は今後、調査・研究することとどまっている。調査・研究と言つても早ければすぐ形になる。長ければ何年も動かないこともある。これまでの答弁で私は部

まかべ あさひろ 眞壁 朝弘 議員 (新政クラブ)

石川橋川沿いの歩道アスファルトの進捗とスロープの要請

答弁…令和8年2月2日に工事完了。スロープ追加工事を県に要請

歩道整備



石川緑地広場にドッグランを設置

◎ドッグランは、市民の憩いの場の創出だけでなく、教育・福祉・地域交流、さらには地域活性化など多くの可能性を持つ取組であると考えている。こつした様々な可能性を踏まえ、ぜひ石川緑地広場にドッグラン整備の推進について前向きな検討を強く要望する。

▲(名嘉眞都市建設部長) 犬に関する専門知識を持った団体などから提案・設置相談があれば対応していきたい。

石川川沿い歩道

◎石川川沿い歩道アスファルトの進捗状況と階段横に車椅子や自転車、シニアカー等が利用できるスロープ設置について追加工事の要請を市から県中部土木事務所へできないか伺う。

▲(名嘉眞都市建設部長) 令和8年1月19日から2月2日の期間で舗装工事完了。また中部土木事務所

所へつるま市議会定例会一般質問に係る要請を行っている。

セグロウリミバエ対策

◎当該対策について伺う。
▲(座喜味農林水産部長) 発生状況が鹿児島県奄美群島まで拡大していることから、県外出荷規制がさらに令和9年3月31日まで延長。今後も根絶に向けて徹底した防除対策が必要になると考えている。国・県及び市職員など約20人で対応を取っており、市町村は国等と連携し、防除対策に取り組むことになっている。

※その他「高速道路の工事による渋滞に伴う脇道の安全対策」「在日米軍関係者との交通事故に関する相談窓口」「こども支援事業、2万円の支援金、支給開始の時期と手続の方法」について質問しました。

いけみやぎよしのぶ
池宮城 善伸 議員 (かけはし)

基地を抱える西原地域で防衛事業による駐車場整備は可能か



駐車場

答弁…防衛関連も含め進入路整備を前向きに調査・調整



あげな小学校駐車場整備

Q あげな小学校周辺の駐車場不足と交通混雑の解消に向け、令和7年12月定例会での提言を踏まえ、令和8年度の予算措置と整備方針について伺う。

A (諸見子ども未来部参事) あげな小学校周辺の交通渋滞対策として、あげな子ども園解体後の地地利活用により、駐車場整備等を含め予算を計上している。解体工事の進捗を踏まえ、8月以降に駐車場整備の着手が可能。工期は概ね2か月程度を見込んでいます。

学校プールの集約化の今後の取組

Q 学校プールは整備費や維持費が大きな財政負担となっている。費用対効果を踏まえ、建設費・維持費の実態と集約化による財政効果、今後の方向性を伺う。

A (兼城社会教育部参事) 学校プールの整備費は、物価上昇や既存施設の解

体撤去費等を含め、1校あたり約3億5千万円を見込んでいます。屋外プールは悪天候による授業中止や熱中症リスクなど課題がある。更に維持管理費も継続的に必要であり、今後は校外の屋内プール活用も視野に入れ、実証実験を通じて安全で効果的な水泳授業の在り方を検討したい。

各種団体による大会開催計画

Q 総合体育館完成後は、市民利用に加え大会開催や誘致が期待される。九州大会や大規模大会の誘致は地域経済の活性化にもつながると考えますが、市の見解を伺う。

A (金城企画部長) 総合体育館完成後の大会開催については、九州大会や県大会レベルで各競技団体や水泳連盟が開催意向を示している。大会誘致は供用開始2年前を目安に具体化し、関係団体と連携し準備を進める。

いもりさちこ
伊盛 サチ子 議員 (日本共産党)

学校給食

小学校給食費無償化に伴い、中学校保護者負担分の補助を

答弁…中学校給食費は交付金を活用し県補助と併せて無償とする



国民健康保険税

Q 国保の均等割は年齢や所得と関係なく子供や世帯の人数を含め国保加入者が子育てするときに税負担が増える。均等割の軽減を18歳まで拡充することについて国の動向は。

A (古謝市民生活部参事) 厚労省は令和9年4月より対象年齢を高校生までの拡充を検討している。

加齢性難聴

Q 早期発見に向け、健診時による耳の聞こえ度チェック実施で医療機関の受診につなげる取組を。

子ども医療費助成

Q ①18歳まで拡充を行うことについて検討されたのか②財源確保のため一般財源、基金、国・県の補助金制度の活用を。

安定的な財源確保が課題②財源確保に向けて国・県の動向に注視したい。

沖宮鉾山内の里道

Q 里道占用料の徴収ができるよう、条例に土地の形状変更を定めることについて。

施政方針

Q 南風原地区遊水池に堆積した土砂等のしゅんせつ工事の進捗は。



南風原地区遊水池

たかやゆう 高屋 優 議員 (新政クラブ)

中部病院前バス停上屋の整備を

答弁…優先的に実現できるよう県へ働きかけていく

屋根整備



大型商業施設での期日前投票所設置

◎大型商業施設への期日前投票所設置については、2年前にも同様の質問を行っており、他自治体では実施例もある中で、うるま市では未だ実現していない。また、投票率向上に向けて投票済証発行や土曜日の期日前投票拡充を。

▲(眞喜志選挙管理委員会事務局長) 通信環境や人員確保などの課題があるが、引き続き検討する。投票済証の発行は見送っている。増設した期日前投票所では投票日前日の土曜日に投票できるようにした。今後も同一期間で実施する。

放課後児童クラブのデジタル化

◎出欠管理、職員配置、日誌、補助金申請、実績報告など事務負担軽減や保護者サービス向上の観点からデジタル化導入を。

▲(諸見子ども未来部参事) システム導入によるさらなる様式統一や業務平準

化については効率化につながるものと考えている。他市町村の導入状況を調査し検討したい。

医療的ケア児への災害時支援

◎障害者手帳や指定難病の対象外となる医療的ケア児は、非常用電源装置の助成制度の対象外になっている。代替的支援策や関係部署との連携が必要ではないか。

▲(田崎福祉部長) 国・県の動向を注視しながら必要な対応を進める。

部活動場所確保を

◎高江洲中学校建て替え期間中、運動場が使用できなくなる。令和9年度から子供たちが運動できる環境を整えられるか。

▲(兼城社会教育部参事) 活動環境の確保は教育委員会の責務。工事期間中の活動場所確保に向けて取り組む。

かみだよういち 神田 洋一 議員 (津梁)

地域デジタル通貨と全分野横断型プラットフォームの導入

答弁…うるまのペイの実証成果と導入後の効果、課題等確認を行う



複雑化する消費税制度への対応

◎各種法的チェックなど専門家に相談や確認してもらえる体制づくりを。

▲(田崎福祉部長) 新規事業など国税局や関係機関に相談し慎重に対応。

感染症の郵送検査

◎HIVと梅毒の郵送検査について。

▲(古謝市民生活部参事) 県事業でウェブからの申込。無料・匿名で受検でき、市としても情報発信など普及啓発に取り組む。

水資源を守るため無秩序な採水に反対

◎市内全域での地下水管理について検討を。

▲(松岡市民生活部長) 地下水保全は重要。地域事情に応じて対応を検討。

公営住宅国籍調査

◎外国人増が想定されが市営住宅の同居条件は。

▲(田場都市建設部参事) 適切な整備要請を。

審査基準や運営体制など国や他県の情報を収集し調査・研究を行う。

昆布地域から天願集落の悪臭

◎市の公害防止条例における指導権限は。

▲(松岡市民生活部長) 指定施設が規制基準に不適合な場合、措置命令や罰則を処することが可能。

公共施設間連絡バスのパーチャル停留所

◎バス停の変更や廃止で不安な市民のためパーチャル停留所導入を提案。

▲(名嘉眞都市建設部長) 開発や費用、安全性など課題。公共交通空白地など優先順位を踏まえ検討。

停電など街路樹に起因する損傷

◎台風襲来前に本市から適切な整備要請を。

▲(名嘉眞都市建設部長) 道路管理者や通信インフラ事業者で予防保全策に努める。

くによし りょう
国吉 亮 議員 (希望のいぶき)

山城茶の魅力や、生産者を増やす施策を展開すべき

答弁…山城茶の魅力発信や、生産者の支援をしていくことは重要



政策提言



提案・要望

◎石川庁舎券売機新設の要望。券売機において新札が使用できない。市民にどのような対応をしているか。

▲(松岡市民生活部長) 現在の機器は新紙幣の対応ができない。市役所窓口にて旧紙幣と交換し対応している。

◎今後はキャッシュレス決済ができる券売機設置を要望する。

▲次年度早い段階で予算計上へ努めていきたい。

◎伊波中学校フェンスの修繕や新設を要望する。

▲(兼城社会教育部参事) 一部支柱や胴縁の腐食状況を確認している。修繕方法や範囲を検討していきたい。



伊波中学校フェンスが腐食しているため、新設、修繕の要望をしました。

基地行政

◎うるま市においては米軍機による騒音等で被害を受けている方々がいる。そういった方の被害が軽減されるような要請や、基地の整理・縮小に対しての要請を令和8年度は行ってほしい。

▲(中村市長) うるま市の基地が所在する中で、どの部分で、どういった形で返還されるかは、日米の協議のSACO合意によって示される部分がある。今後は注視し、情報を収集しそういった情報があれば、議会においても公表をしたいと思っている。



石川プール横の防波堤からあふれ出した砂の写真。海岸改良工事の要望をしました。

地域課題



たまもと ちか せ
玉元 哉世 議員 (かけはし)

赤道小学校体育館改修工事は計画どおりに進んでいるか

答弁…計画行程どおりの進捗となっている



不登校問題

◎不登校が長期化・ひきこもり化しないための取組について進級・進学、社会的自立を見据えた支援は。

▲(鹿川学校教育部長) 家庭、学校、地域、専門機関や市関係部署で取り組んでいく。

本市職員の労働環境

◎「長く働いた職員」から「効率的に成果を上げた職員」への働き方評価の転換はどのように。

▲(山入端総務部長) 公平で納得性の高い評価を進める。

◎行政のトップとして市長の思いを伺う。

▲(中村市長) 新たに取組む事務事業について目的・成果・効果等を総合的に検証する新たな部署を市として設置する。

災害ボランティアに関する協定

◎協定内容、支援分野、連絡体制等災害協定の一

覧化、見える化を進めてみては。

▲(大田防災広報対策部長) 見える化の検討を行い共有化する。

地域からの要望・課題

◎赤道小屋内クラブ活動について保護者と共に県施設へ代替利用の要請を行い、市も施設側へ要望しているというが。

▲(鹿川学校教育部長) クラブの父母会代表者と共に、県に対して要請を行っている。

◎米原区市道兼箇段喜仲線の今後の方針と見通しについて伺う。

▲(名嘉置都市建設部長) 優先事項を選定し、制度の中で効果的に進める。

◎赤道区スポーツ広場の排水対策の整備について要請があったが。

▲養生中における現象で現在は解消。

◎市道江洲宮里線樹木伐採について江洲自治会より樹木伐採の要請あり。

▲「江洲宮里線街路樹剪定業務」を発注。現在履行期間中である。

みやぎ かずとし
宮城一寿 議員 (うるま市民クラブ)

島しょ地域のさくらねこ不妊対策について

答弁…保護器の引継ぎがされておらず混乱を招き令和8年度5器貸出



ねこ対策



うるま市総合体育館整備運営事業

○呉志川・大田・上江洲・田場区等への住民説明会及びイベント後の集落への車両進入対策について。
▲(金城企画部長) 必要に応じて対応を検討。

田場区

○田場1434番地付近排水路整備は。
▲(名嘉眞都市建設部長) 地権者同意が得られず工事未着手。同意が得られれば事業化に向け進める。

字真志川

○田場サンエー食品館前信号機設置は。
▲(松岡市民生活部長) 当該場所近くに信号機があり、新設は大変厳しい。
○平敷屋195番地付近の側溝整備状況は。
▲(名嘉眞都市建設部長) 全体の整備完了は令和9年度を予定。

勝運・平敷屋地区

島しょ地域の地区別課題

○比嘉自治会からの要請について。
▲(大田防災広報対策部長) 旧比嘉小跡地活用は自治会や庁内関係部署と連携。
○平安座島原野開発に伴う地権者同意は。
▲(田場都市建設部参事) 地権者同意なしの土地造成は所有権の侵害になる。
○伊計島いも団地危険性除去について。
▲(座喜味農林水産部長) 5月頃までに自治会と協議できるよう努めたい。

市民の声

○喜仲公民館建て替えは令和8年度取り組むが、川田公民館建設支援は。
▲(松岡市民生活部長) 川田区コミュニティ施設は令和10年度建設予定。
○呉志川テニスコートベント屋根整備は。
▲(岸本経済産業部長) 費用を踏まえると厳しい。

男女共同

なかほど たかし
仲程孝 議員 (希望のいぶき)

女性も男性も自由闊達に意見を言える環境作りに向けて

答弁…女性の意見反映を促進するため女性団体支援等に取り組む



赤道小学校屋内運動場整備事業

○一日も早い完成が待たれるが具体的な供用開始はいつ頃予定か。
▲(兼城社会教育部参事) 工事の完成は令和8年10月末を見込んでおり、供用開始の時期は令和8年12月を予定している。

うるま市国土強靱化計画

○計画策定の主旨や計画期間などの概要を伺う。
▲(大田防災広報対策部長) 災害による想定リスクを踏まえ人命の保護が最大限図れること、市の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されることといった目標を掲げ、概ね5年間の期間を設けている。

○米軍基地や自衛隊基地内の被害が基地外への二次被害を巻き起こす可能性も。
▲(相互応援体制の整備を図り、地域への波及防止を推進していく。

公有財産

○本市で利活用が困難である普通財産について、売却や貸付けを行う方針は。

▲(島袋財務部長) まずは行政目的での利活用を優先的に検討し、見込みがない場合、売却や貸付けを検討する方針である。
○現在当局が貸付けを行っている普通財産の売却に優先的に着手し、推進していくべきではないか。

▲今後貸付人への随意契約による売却を推進していく方針である。

うるま市ジェンダー平等推進計画

○積極的な情報発信や多様な選択ができる社会環境づくりに向けての取組は。
▲(大田防災広報対策部長) 理解促進を図るため、情報発信や周知・啓発、市民向け講座の開催を行う。

てん がん
天願 こうや 議員 (津梁)

消防職員定数の増加に伴う 仮眠室の確保は行えているか



保育
転園

答弁…具志川消防署で7室の増設を
予定している



転園で待機児童に？
知らないといけない期限

◎転園する際には、今通っている保育園を一度退園しないといけないと聞いたが、なぜ一度退園しないといけないのか。仮に希望の転園先が通らなくて、在園していた保育園も定員に達し、再入園ができなくなる可能性もあると思う。なぜ転園する際にも一度退園しないといけないのか何つ。
▲(諸見里こども未来部参事) 転園先に新規の入所希望や待機児童もいる可能性があるため、公平な入所選考を行うため一度退園する必要がある。
◎昨年の12月にもともと希望していた保育園に空きが出たということ、今年度の1月上旬に転園を考えた保護者が担当課に相談しに行ったところ、転園したとしても在園できるのが今年度の3月いっぱいとのこと、4月以降も在園できる保証はないと言われた。なぜ転園できたとしても、翌年度にも引き続き在園ができる

ないのか。

▲12月の時点では、令和8年4月入所の一次選考結果がほぼ確定しているため、12月の時点で令和7年度空き枠があったとしても、令和8年4月には定員の空き枠がない状況が想定されるためである。
◎年度途中に空きが出たからといって、転園を希望すると数か月で待機児童になるというリスクを保護者が背負うことになる。そこで確認だが、翌年度の4月以降も引き続き同園に在園することが可能となる転園の期限はいつまでか。
▲11月10日までとなっている。

※その他「消防行政」「市民所得」「教育委員会」「市の式典」「職員」「市内事業者」「デジタル」「維持管理」について質問しました。

きんじょう かな え
金城 加奈栄 議員 (日本共産党)

生活保護費の追加給付費、 本市の対応について

答弁…令和8年5月から6月に追加
給付費額を算定し順次給付



公民館内の一般照明
用蛍光灯使用状況

◎うるま市でも、公民館のLED化補助制度はあるのか。

▲(松岡市民生活部長) 自治公民館の増築、改築、改修または修繕に関する費用、市が負担すべき範囲を定めるため庁内検討委員会を設置し、自治公民館施設の増築、改築、改修または修繕を行う際の市の負担割合などについて検討し、決定したい。

旧比嘉小学校の避難
所以の利用・旧宮
城中学校、学校用地
跡地利用

◎その後の進捗状況について伺う。

▲(金城企画部長) 今後は、旧比嘉小学校跡地利用について、キャンプの成果や課題などを確認し、避難施設としての本来の役割や機能維持向上に資する防災キャンプの実施も含め、民間の力を活用した跡地利用の可能性、地域活性化に資する

方策などを継続して検討する。旧宮城中学校について、令和8年度に建物の解体・撤去を予定。学校用地利用について地元自治会の意見を踏まえ民間活力導入推進の観点、民間事業者へヒアリングなどを実施し、活用を検討していききたい。

◎民間の方々が活用した場合、どのように情報共有し、手続などの対応について伺う。
▲自治会など地域からの意向や要望を踏まえ、対応を検討していく。

津堅島複合施設・移
住施設整備の今後の
維持管理

◎工事の完了時期は令和9年3月となっているが、いつまでに管理方法の検討ができるのか。

▲(金城企画部長) 令和9年4月の供用開始に向け、令和8年6月までに管理方法、方針を決定していきたい。



生活
保護

ま え し ろ た か し
真栄城 隆 議員 (無会派)

市営住宅の長期待機者に民間 空き家活用を優先できないか

答弁…今後の空家等対策計画の中で
調査・研究していきたい

住宅 対策



空き家対策

Q 空き家問題は行政だけでは解決が難しく、民間との協働が不可欠である。民間事業者とのマッチング連携のイメージは。

A (田場都市建設部参事) 不動産や建築事業者、管理代行事業者など、各分野の民間事業者との連携が重要であると認識。今後、関係団体等との意見交換を行いながら実現可能性や課題を整理しつつ、空家等対策計画の中で検討していきたい。

Q 市営住宅の空き家待ちが長期化している方々のうち、民間空き家の活用によって住まいの確保につながる可能性がある方たちを想定できるか。

A 市営住宅は、住宅に困窮する低所得者等に対し低廉な家賃で賃貸することが目的。高齢者、低所得者、子育て世帯等が想定される。

広報・市民へのお知らせ

Q テレビのデータ放送についての評価と今後の導入可能性について。

A (大田防災広報対策部長) 伝達手段の多重化を強化する有効な手段だが、視聴者数の低調が課題。

Q ゆらてくなどのサークル活動や講座を自治会へ情報提供し、掲載は各自治会に一任し、自治会だよりへの掲載を行っていく取組が有効ではないか。

A (宮城社会教育部長) 生涯学習文化振興センターにて企画する生涯学習講座について、自治会への一斉メールなどにより情報提供を行いたい。

Q 緊急時、スマートフォンやホームページのトップに、表示できないか。

A (大田防災広報対策部長) 今後、緊急時の情報配信については、関係部署と連携を図り、迅速にいち早く緊急情報が配信できるように、ホームページのトップページの活用も含めて取り組んでいきたい。

たま き ま さ や
玉城 政哉 議員 (かけはし)

現在の県立中部病院の常勤医師 数は充足しているのか

答弁…欠員等により休診中の診療科もあり、充足とは言えない

命と健康



県立中部病院の現在の医療体制

Q 令和7年における救急搬送・受入れ制限問題について県立中部病院で受入れができなかった件数について。

A (古謝市民生活部参事) 受入れができなかった件数は184件。

Q 緊急搬送の受入れができなかった要因は。

A 重症患者が続いた場合、場所やマンパワーの問題で対応困難となった。また専門科対応が必要で担当医が不在の際は対応困難となる場合がある。

Q 医師の時間外労働の平均は月何時間か。

A 令和7年4月から12月の時間外労働及び休日勤務時間の月平均は65.75時間。

Q 県立中部病院の収支状況の推移について。

A 令和7年度も昨年度に引き続き厳しい経営状況にあり赤字が見込まれる。

Q 累積赤字の場合、その改善計画は。

A 令和5年度から9年度までの5年間の計画期間

災害時における島しょ地域の対策

Q 沖縄振興予算、離島振興関連補助金、防災減災事業、国土強靱化関連交付金を活用しての島しょ地域の防災計画ができないか伺う。

A (大田防災広報対策部長) 今後もこれらの関連補助金などを活用し、市国土強靱化地域計画で本市の離島・島しょ地域における防災・減災事業を図っていききたい。

うるま市石川多目的ドーム駐車場整備

Q 整備に向けた具体的なスケジュールがあれば伺う。

A (岸本経済産業部長) 駐車場の増設整備には用地の確保が必須であり、次年度以降その取得に向けて鋭意取り組んでいく。

こくば せいこう 議員 (津梁)

親亡き後の障がい者支援について

答弁…市内5か所の事業所に相談支援業務を委託



福祉行政



保育行政

◎あげなこども園本園の跡地利用について。
▲(諸見里こども未来部参事) 市が跡地の一部を駐車場として整備する予定。

福祉行政

◎親亡き後の障がい者の支援について。
▲(田崎福祉部長) 障がい者基幹相談支援センターが中心となり、関係機関との連絡調整、個々の状況に応じた解決策を模索する取組を行っている。
◎金銭管理の支援について。
▲成年後見制度を活用し、法律的な観点から財産管理を行い、権利を守る仕組みも整備されている。

市内野球場整備

◎整備に伴う野球場使用制限期間について。
▲(岸本経済産業部長) 令和8年度において3か月程度、一般利用制限を行う予定。

学校施設整備

◎城前小学校、屋外電源設置について。
▲(兼城社会教育部参事) 電源設置の要望については、引き続き全体把握に努める必要がある。
◎伊波小学校防球ネットについて。
▲張替えに向けて学校側と調整する。

安慶名店舗

◎安慶名店舗や近くにある地域交流センターをほこみち事業等と連携し、地域活性化につながるような取組ができないか。
▲(名嘉園都市建設部長) ほこみち制度と連携することによりまちの活性化に寄与することから、関係機関と連携して取り組んでいきたい。

※その他「田場小、高江洲小グラウンド」について質問しました。

くらね たけし 議員 (与開之会)

質的向上

教員の質を上げるためにどのようなことを行っているのか

答弁…県外視察や県内外講師の研修会、教育講演会などを実施



市民サービス

◎引越し、印鑑証明書、パスポートと携帯での予約はできるが、それ以外の証明書等のスマートフォンでの予約は可能か。
▲(松岡市民生活部長) 現在、申請書への記入が不要となる書かない窓口については、全庁的に調査・研究を実施している。また、引越し、印鑑証明、パスポート以外の予約は、夜間・休日のマイナンバーカードに関する予約受付を実施している。

定住・移住

◎宮城島のしましま交流館、うるま市島しょ地域交流施設条例第4条で(1)関係人口の創出に関する事業(2)移住及び定住に関する事業(3)施設の利用者と島しょ地域における市民との交流に関する事業(4)島しょ地域における起業支援に関する事業とある。進捗状況は。
▲(松岡市民生活部長) 島しょ地域における人口減少や利用ニーズも少な

く、現時点では事業の実施が限定的な状況。施設を拠点とした具体的な事業実施には至っていない。
◎このままだと島しょ地域の関係人口の創出、地域交流並びに地域課題の解決は図れない。施設だけでは事業は進まない。しっかりと事業を進めるためには、常駐職員の配置、施設の目的に合った効果的な運営を行い、地域の方々とも連携を取り運営してほしい。適切な維持管理、事業運営の実施ができていのか見解を伺う。

▲施設設置目的の関係人口の創出や地域交流の促進に向けた事業運営について、十分な実施に至っていないと認識。今後は、島しょ地域における関係人口の創出及び地域交流並びに地域課題の解決を図るため、施設の利用状況や地域の実情を踏まえ、より効果的な施設の活用や運営の在り方について調査・研究し、条例に基づいた事業を推進していきたい。

佐久田 悟 議員 (与開之会)

認知症の方や家族のニーズに合った効果的な支援や施策は

答弁…相談支援体制継続と地域での孤立防止の交流の場を提供

介護支援



うるま市高齢者福祉計画と介護保険事業計画

介護認定者数と介護給付費額の推移は。

【A】(田崎福祉部長) 介護認定者数は、令和4年度5,672人、令和5年度5,887人、令和6年度6,004人。介護給付費額は令和4年度93億2,600万円、令和5年度95億7,000万円、令和6年度99億2,100万円となっている。

【Q】市内特別養護老人ホームなどへ入居希望しても入れない待機入所者数の現状と平均待機期間の状況について伺う。

【A】特養ホーム入所の必要性が高い申込者数が65人で平均待機期間は1年から3年。

【Q】本市の特養ホーム等の増設計画や要介護度の高い高齢者への介護サービス施設整備整備への取組について伺う。

【A】令和8年度中に特養待機者数と医療病床から介護への転換数等を勘案した施設整備目標を立て、

第10期介護保険事業計画に組み込み、計画期間中での移設整備に向け取り組んでいく。

【Q】深刻化する介護人材不足へ向けてこれまで以上に介護人材マッチングや介護定着支援事業にしっかりと取り組むべきだが。

【A】市としても懸念している専門員を確保する介護人材確保等支援事業と介護研修等緊急支援事業を新たに実施予定で本定例会にて予算計上している。

【Q】歳を重ねても最後まで共に生き、支え合い、心豊かなうるま市を目指すために、これからの高齢者福祉・介護保険事業への思い、取組について市長の見解を。

【A】(中村市長) お年寄りを抱えている家庭、家族地域にとって住みよいまちづくりを目指し、地域経済が社会福祉を支える好循環の社会づくり宣言をしているが、市の将来的問題を共に分かち合い、市民協働のまちづくりを推進していけるよう今後とも御助言並びに御提言を賜りたい。

かねもと みつはる 兼本 光治 議員 (与開之会)

平安名屋慶名線道路整備計画の関心が高まっているが

答弁…令和8年度内に1工区の事業説明会を開催する予定

ハシゴ道



高齢者の独り暮らし

【Q】高齢者の独り暮らし世帯について伺う。

【A】(田崎福祉部長) 地域包括支援センターや自治会及び民生委員、市社協などの連携による様々なサービスの導入により、高齢者独居世帯の支援を実施している。

地産地消水素ステーション整備事業

【Q】本市における水素に関する取組は、地方自治体の大きな役割の一つとして水素モデルを確立し供給拠点を図っているが、進捗状況について伺う。

【A】(岸本経済産業部長) 実証実験に取り組むとともに、水素供給事業者や需要事業者、学識者、行政等による検討を行い、県内での水素需要の創出に向けたロードマップを整理している。

生活排水路事業

【Q】天願地域から要望がある、市道天願地内線の排水路整備事業について伺う。

【A】(名嘉眞都市建設部長) 下水道工事1工区が行われていて、発注業者との調整になるが並行して側溝改良工事を検討。

道路行政、平安名屋慶名線

【Q】与勝地域の交通渋滞の解消は、県道37号線、県道10号線、県道8号線、与勝一周道路南岸道路路線に横断するハシゴ道路計画が必要不可欠。現在与勝地域では平安名屋慶名線道路整備計画の関心が非常に高まっているが、進捗状況について伺う。

【A】(名嘉眞都市建設部長) 屋慶名方面延長650mを1工区とし、平安名内間方面延長820mを2工区とし、令和8年2月に実施設計業務を発注した。

【Q】今後について伺う。
【A】実施設計業務を年内に完了し、令和8年度内に1工区の事業説明会を開催予定。

たいら かずお
平良 一雄 議員 (新政クラブ)

うるま市職員採用にスポーツ枠創設を検討する考えを伺う

答弁…スポーツ枠の可能性も含め、他自治体の事例を参考に検討



人材確保



石川地域まちづくり推進計画

市主導の基本構想やロードマップはいつまでに策定するのか伺う。

（金城企画部長）第一期は今年度、石川公園の整備に着手、第二期・第三期は民間参画や他事業との調整を踏まえ今後のスケジュールを検討。

石川高原線

石川高原線の街灯整備や区画線の再整備計画はあるのか伺う。

（名嘉眞都市建設部長）街灯整備計画は現時点ではない。区画線は令和8年度に県道6号線からANAホテルまでの一部区間で実施する。

夜間照明や区画線が不十分で安全性に課題があり、避難所利用も踏まえLED街灯の段階的設置とソーラー式防災照明の導入を早期に進めるべきではないか。

（LED照明やソーラー式防災照明については、中長期的に検討する。

発達障害疑いのある児童に対する支援

発達特性疑いのある児童について、保護者への相談や説明について伺う。

（鹿川学校教育部長）担任の気づきをきっかけに特別支援コーディネーターが保護者に配慮し、支援内容を説明。また、教育相談室への相談も案内している。

うるま市の下水道事業

下水道整備区域外の浄化槽や新築住宅への補助制度の考え方と今後の計画を伺う。

（座間味水道部長）整備区域外を対象に、合併処理浄化槽の設置へ最大50万円を補助。今後も水質保全と生活環境向上のため制度を継続する。

※その他「放課後教室や学童保育の充実」「県立中部A特別支援学校（仮称）」について質問しました。

おおしろ なおし
大城 直 議員 (かけはし)

宿泊施設増に向け、古民家利活用の支援について伺う

答弁…新たな宿泊施設増への支援も庁内で検討する



道路行政

市道勝連4-77号線、平敷屋後原道路の遅れの原因と進捗について伺う。

（名嘉眞都市建設部長）当該道路工事は、電柱の移設遅れにより令和8年5月完成予定。

市道勝連2-1号線の地滑り箇所の整備も遅れているが、完成予定について。

（金城企画部長）令和8年9月の予定である。

勝連地区まちづくり

与勝地域からは、B&G海洋センター体育館と武道場の再整備の声が多くあるが、再整備について伺う。

（岸本経済産業部長）再整備の予定はないが、武道場の機能は近隣学校施設の活用を視野に考えている。

観光行政

2月14日のウイングフォイル全国大会では女子の部で本市の平良選手

が優勝し盛り上がったが、大会の評価と実績を伺う。

（岸本経済産業部長）大会主催者の報告では、市内宿泊や飲食等で約1,660万円の経済効果があったと報告を受けている。

本市の素通り観光を滞在型にする変更が課題だが、与那城庁舎の跡利用計画について伺う。

（金城企画部長）ホテル誘致は、多種目球技場への関心があるので、土地利用変更等を検討している。

公園整備

平敷屋タキノ公園は高台で風光明媚なので、階段手すりとフェンスの整備について伺う。

（名嘉眞都市建設部長）階段手すりとフェンスの整備については自治会と相談の上、対応する。

※その他「あやはし館」について質問しました。



観光行政

しもじょう まさる
下門 勝 議員 (津梁)

今回は与那城保育所1か所で実施となるが公平性の確保は

答弁…利用格差が生じないよう最低4か所での実施を計画する

通園制度



建築完了検査及び固定資産税に関連する事項

Q 市内には、建築完了検査未了の物件が存在している。12条報告を市民救済や既存建築物の整理を目的として活用するのであれば、例えば全額補助や一部補助、条件つき助成、もしくは初回調査費用の軽減など市民負担を軽減する仕組みを検討する考えはないか伺う。

A (田場都市建設部参事) 公平性の観点を踏まえ現時点では制度化する考えはない。

Q 新築工事が完了した段階において初めて家屋の資産価値が定まり、正確な評価が可能となると最高裁判例があるが所見を伺う。

A (島袋財務部長) 同様の認識である。

Q 完了検査を経て初めて適法性が確認される制度であり、検査未了段階の課税に疑問が残る。建築完了検査の適正な履行は極めて重要であり、確実な履行を求める。

A (中村市長) 関係部署と連携し、適正な建築行政の運用に努めていく。

障がい児及び気になる子等への支援

Q 現在の仕組みも一定の役割を果たしているが支援が十分に行き届かない現実があることから、実効性ある支援体制となるよう再検討すべきと考えるが所見を伺う。

A (中村市長) 相談をもたえれば、万全の体制で対処していきたい。

散骨等に関連する事項

Q 国法上、散骨を直接規制する制度が存在しない状況を鑑み、市民の安心や風評被害の未然防止、地域産業の保護の観点から条例制定に向け具体的検討を早急に開始すべきであると考えますが所見を伺う。

A (中村市長) 今後、課題の解決に取り組んでいきたい。

やまし りょう た
山城 良太 議員 (希望のいぶき)

教育環境

タブレット故障時の影響最小化と迅速修繕を要望

答弁…修繕担当職員の配置、予備機も相当数整備予定



学校環境

Q 運動場の排水側溝の排水不良の対応について、今年度から学校の環境整備を行う委託業者が対策可能かを伺う。

A (鹿川学校教育部長) 運動場の排水側溝について、清掃業務の委託により軽微な清掃は対応可能。



運動場の排水側溝

公園整備

Q 公園遊具の破損、老朽化が確認された場合、公園の利便性や魅力の低下にもつながる。特に伊波公園は子供たちで賑わう公園なので、迅速な対応を求める。

A (佐久川副市長) 修繕に数か月から数年を要する場合もあるが、遊具が安全に利用できるよう、日々の維持管理に努める。



伊波公園の修繕前



伊波公園の修繕後

歯科・口腔ケア

Q 8020達成者のうるま市、県、国の状況について伺う。

A (古謝市民生活部参事) 本市29.4%、沖縄県44.1%、国51.6%である。

Q 国、県との差を縮めたい。地域別の把握、歯科医療専用車の活用、通院が困難な高齢者や障がい者の訪問歯科診療や口腔ケアの体制強化について、関係機関と連携しながら、今後、研究していく考えはあるのか伺う。

A 地域別の把握を今後、検討していきたい。歯科医療専用車について今後の展開を注視する。今後中部保健所などの関係機関と連携し、調査・研究をしていきたい。

※その他「本市が目指すまちに関連する事項」「つるま市公式LINEの情報配信」「粗大ごみ」「石川前原区の公園」「野島の森自然公園」「里道」について質問しました。

い は よしあき
伊波 良明 議員 (津梁)

美ノ海関を激励する闘牛図柄の化粧廻しを贈呈する考えは

答弁…闘牛文化を全国に発信する手法だが民間団体の展開を望む



道路関連

Q 石川銀座座通り線の西側延伸は恩納村からの誘客や商業施設等の進出が見込まれる重要路線と想定しているが所見を伺う。

A (佐久川副市長) 推計交通量が多いことからアクセス性向上など効果は期待できるが、優良農地の分断や沖縄自動車道と交差するなど慎重に検討する必要がある。

Q 大育保育園前面道路の交通量増加等緊急性を要するが拡幅整備の現状は。

A 概略設計、道路幅員9.5m、うち片側歩道2.5mを令和7年2月に完了し、今後、ハード交付金以外の国庫補助事業等財源による事業化の可能性を検討する。

Q 石川西線と石川インターチェンジを結ぶ石川1C線の整備状況を伺う。

A 橋梁部46mを含む約120mの区間を幅員15mで計画している。令和8年度には実施設計業務を予定している。

Q 工事工程の詳細について伺う。

A 令和9年度から物件補償や用地買収を行い11年度に工事着手、15年度に完成予定。

土地活用

Q 東恩納白土原地域の今後の利用について地権者からのアンケート回収状況を伺う。

A (佐久川副市長) 300件の配布に対し約73%の回答があり、住宅用地や店舗建築など個人利用が約38%と最も多かった。

Q 土地利用基本計画策定を目的としたアンケート調査結果を踏まえ所見を。

A 多くの地権者が住宅等の有効活用について関心が高い。調査結果を踏まえ戦略的かつ実効性のある策定を考える。

Q 農業用地だが手つかずに放置された現状を鑑み、土地区画整理事業を検討すべきだと考えるが見解を伺う。

A 土地区画整理事業やその他の事業手法の可能性も含め慎重に検討する。



い は ひろし
伊波 洋 議員 (うるま市民クラブ)

石川消防署移転跡に市民課窓口、各種団体の活動場所に

答弁…跡地については、これら以外の有効活用を検討する



予算

Q 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度未までの支出額又は支出見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調査で、令和8年度以降予定件数と金額について。

A (島袋財務部長) 令和8年度以降に予定計上されている債務負担行為23件、金額にして504億2,434万3千円。

Q うるま市の一般会計予算は自主財源が26%、依存財源74%が今の現状。予定金額の内訳、財源内訳の比率、国と地方債、その他、一般財源について。

A 予定金額の内訳と比率で、504億2,434万3千円のうち、国及び県補助金が141億で28%、地方債112億で22.4%、その他の財源が5億で1%、一般財源が245億で48.6%。

Q 地方債の前々年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度における現在高の見込みに関する

る調査の5年分の推移は、**A** 地方債の推移は、令和4年度残高459億円、令和5年度437億円、令和6年度433億円、令和7年度未見込み489億円、令和8年度残高見込み538億円となっている。

施政方針

Q 三大まつりについて、みほそまつり、よかちやーフェスは、うるま祭りが開催された場合も継続するのか。うるま祭りは今後復活する可能性はあるのか。

A (岸本経済産業部長) うるま祭りについては開催の有無については開当面はうるま市エイサーまつり、石川みほそまつり、よかちやーフェスを市を代表する3大祭りとして最適化を図って実施していく。

※その他「石川地域まちづくり事業」「石川団地周辺複合施設関係」等について質問しました。

う え に し ま り
上西 真理 議員 (うるま市民クラブ)

家族介護者の不安解消に向け 実践体験講座実施を希望する



答弁…認知症の方を介護する家族の
ニーズ把握に努める



台湾友好都市締結へ

Q 災害・有事に、物資や人的派遣予定は。
A (松岡市民生活部長) 関係部署で連携検討。

市犯罪被害者等支援 条例制定へ

Q 体制整備、二次被害防止、見舞金予定は。
A (田崎福祉部長) 体制は関係機関と連絡・調整が可能となる。二次被害については配慮する。見舞金については検討委員会で協議。

ふるさと納税活用動 物愛護DX推進事業

Q ガバメントクラウドファンディングの提案。
A (松岡市民生活部長) 行政サービス拡充時財源の一つで検討。

火葬場建設現場

Q 経年劣化マンホールの蓋、アスファルトの殻、水道事業のヒューム管等市民が目撃したが事業者

から報告有無は。
A (田場都市建設部参事) 状況報告で認識。

Q 不法投棄に関し、土地の売主へ法的対応と瑕疵責任の追及予定の有無。
A 不法投棄の状況は未確認。

Q 総務委員長報告「磁気探査に異常点があり確認作業に不測の日数を要した」とのこと。詳細は。
A 磁気探査開始約3か月後、元請事業者より調査途中仮報告で、鉛直探査時、数点の異常点、鉄くず等埋設物を確認。

Q アスファルト塊は、空洞化や陥没を招く。大雨で地盤が崩れやすいが。
A 十分な転圧で、地盤崩壊の可能性は低い。

※その他「重層的支援体制」補助金から交付金、分野横断的取組へ「産業廃棄物対策」「不法投棄通報先：県中部保健所」「宿泊税、新たな法定外目的税」「イベント開催時の入場料や駐車場料金の徴収」「夜間道路路防犯安全、視認性向上対策」等について質問しました。

い れ い た だ し
伊礼 正 議員 (うるま市民クラブ)

市議会研修会、議員は勉強しない方が 良い発言真意を問う

答弁…中身の真意が分からない。
詳しく言っていたら答えたい



行政課題

Q 市内高齢化率及び限界集落の高齢化率、平安座地区の高齢化率は。
A (田崎福祉部長) 市の高齢化率は24%。限界集落高齢化率は、津堅島が54.8%、比嘉地区51%、宮城地区58%、伊計地区56.8%。平安座地区は40.4%。

Q 限界集落は人口増加が必要であるが、市の対策は。
A (金城企画部長) 雇用機会拡大、子育て・生活環境や福祉・医療の充実等の取組を行っている。

Q 違法薬物蔓延予防の対策は。
A (松岡市民生活部長) 各地区防犯協会、中部北保護司会等と連携し、取り組んでいく。

Q 学校給食費無償化は、フリースクールへ今後の給食費の支援も可能かどうか。
A (鹿川学校教育部長) 現時点で国や県から具体的な支援制度等が示されていない。

市民の声

Q 不法投棄は犯罪か。
A (松岡市民生活部長) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条に罰則が規定され、犯罪行為である。

Q 火葬場移転先の整備中に不法投棄物等が出ていないか。
A (金城企画部長) 確認できていない。事業者からの報告等を踏まえ、状況を整理したい。

施政方針

Q 平安名屋慶名線開通予定は。
A (佐久川副市長) 令和17年度を目指す。

※その他「県道37号線利活用」「市道与那城17号線」「認可地縁団体」「不動産登記現状」「新生児・乳児家庭全戸訪問指導事業」「こども誰でも通園制度」「第1次産業農業」「市議会議員・事務局職員研修会での市長発言」等について質問しました。

てんがん ひさし
天願 久史 議員 (津梁)

祭り闘牛の復活を望む多くの声 が寄せられているが

答弁…庁内部署で、復活に向けて 検討を行っていききたい



**出産・子育て支援に
関連する事項**

◎無痛分娩制度導入の調査・研究について。

◎(上原)ごも未来部長) 国や他自治体の状況を注視しながら、出産支援全体の中で総合的に調査・研究していく。

台湾との友好都市締結

◎行政主導の交流にとどまらず民間団体等の参画も重要。今後、締結に向けた官民合同の検討委員会を設ける予定は。

◎(松岡市民生活部長) これまでの事例等を参考に関係部署と協議・検討していく。

製糖工場の建替整備

◎新工場建設後、原料不足や稼働率が低下し工場経営が厳しくなった場合、自治体に対して追加の財政支援要求の可能性は。

◎(座喜味農林水産部長) 新工場での創業後、市町村に対し運営費の追加的財政支援を求めることは

ないものと考えている。

**桃園地区における
漁港**

◎泊地の土砂しゅんせつ基礎調査について、調査の精度と専門性を担保するため、どのような体制で実施する予定か。

◎(座喜味農林水産部長) 漁港設計の実績や水産土木関連の技術士等が在籍する業者への指名競争入札方式で契約し、調査を実施する予定である。

**観光振興に関連する
事項**

◎観光客を「本市のファン」「関係人口」へと発展させ、継続的なコミュニケーションを形成するための仕組みづくりについて。

◎(岸本経済産業部長) 観光プロモーション活動において、公式ファンクラブ「うるラバ」会員獲得も目標に掲げ、うるま市ファンコミュニティの輪を広げ、関係人口へと発展させる展開を図っていききたい。

またよし のりひさ
又吉 法尚 議員 (希望のいぶき)

小学校・中学校の学校給食費 無償化の実施、いつ頃から

答弁…学校給食費無償化については 令和8年4月からの実施



**第24回あやはし海中
ロードレース大会**

◎次年度は1月開催なのか3月開催なのか開催予定日を早めに周知してほしいが。

◎(岸本経済産業部長) 次回大会開催日について、ランナーの安全を第一に、実行委員会において審議・決定していきたい。

野鳥の森自然公園

◎展望台最上階4階にコイン式望遠鏡を設置してみたい。話題性抜群で恋人たちの聖地になるので。

◎(佐久川副市长) コイン式望遠鏡の設置については、設備にかかる費用や管理の方法、現金の回収・管理など、多くの議論が必要であることから調査・研究する。

◎宇堅公民館入り口に野鳥の森公園への案内板を設置してみてもどうか。

◎(岸本経済産業部長) 新たな案内板設置については検討が必要だと考えている。

給食費無償化

◎小学校で市が補助していた額を中学校へ移行し、中学校を完全無償化にしたい。

◎(鹿川学校教育部長) 令和8年度の中学校給食費については無償とする予定。

**川崎ルーシー河線
事業**

◎J A川崎取次店前にある信号機をコープ入り口交差点に移設するスケジュールは。

◎(佐久川副市长) J A川崎取次店前には、信号機の移設時期については、令和9年の夏頃になる。

◎令和9年夏、信号機のなくなったJ A川崎取次店前交差点、歩行者、車両の安全対策について伺う。

◎安全対策として最も効果が高いと考える一方通行への交通規制を含め、可能な安全対策を検討する。



令和8年2月定例会常任委員会の審査概要

委員会に付託された議案・発議案・請願・陳情について、各常任委員会が担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

総務委員会

当委員会では、承認1件、議案13件、陳情1件を審査した。

主な審査内容として『令和8年度うるま市一般会計予算』について、委員から「特殊災害対応資器材購入事業、備品購入費の内容と財源について」質疑があり、当局から「当該事業は、放射線、病原体、有毒ガス等の毒劇物等に起因する災害に対応するための備品購入事業となっており、購入内容については化学防護服、マスクの吸収管、空気ポンベ、ガス検知機等の資器材を整備することになっている。また、財源については、石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用することになっている」との答弁があった。

次に、委員から「津堅島緊急防災ヘリポート整備事業について、供用開始はいつを想定しているのか」との質疑があり、当局から「現時点のスケジュールでは、令和9年度の供用開始を予定している」との答弁があった。

審査結果として、承認1件は承認し、議案は全て原案可決した。また、陳情1件は継続審査となった。

建設委員会

当委員会では、議案17件、陳情3件を審査した。

主な審査内容として『令和8年度うるま市一般会計予算』について、委員から「歳出8款1項1目道路・公園包括管理事業について、何年契約となっているのか」との質疑があり、当局から「令和10年度までの債務負担行為となっており、次年度で2年目となる」との答弁があった。

関連して、委員から「包括管理を導入し、現状はどう変わったか」との質疑があり、当局から「契約開始からまだ1年もたっており、具体的なデータはこれからとなるが、依頼された場所以外も同時に対応可能となり、従来と比べ機動力が上昇している。また、民間にて受付窓口を開設しており、今後認知度を向上させ件数を増やしていきたいと考えている」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情3件は継続審査となった。

教育福祉委員会

当委員会では、議案10件を審査した。

主な審査内容として『令和8年度うるま市一般会計予算』について、委員から「学校教育課管理費、学校整備委託料について」質疑があり、当局から「現状として、学校用務員については全学校に配置されていない状況があった。学校の環境美化作業等について、令和8年度からは、学校用務員の配置ではなくシルバー人材センターへ委託して実施するための予算となっている。月に5日から6日程度、学校へ派遣する計画で、必要な業務内容等も含めて、学校側と調整を行っており、加えて、スクールサポートスタッフの増員についても計画している」との答弁があった。また、委員から「今回業務が委託されるが、学校用務員を配置した場合と比べて予算はどのようになっているのか」との質疑があり、当局から「試算では、1,000万円程度、費用を抑えることができる」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。

市民経済委員会

当委員会では、議案11件、陳情12件を審査した。

主な審査内容として『令和8年度うるま市一般会計予算』について、委員から「友好都市スポーツ交流事業の内容について」質疑があり、当局から「令和8年度からの新規事業で、友好都市である文京区及び盛岡市とスポーツを通じた子供たちの交流を行う事業となっており、夏休み期間を利用して、東京ドームにおいて、3都市から少年野球チームを派遣し試合を通じた交流を計画している」との答弁があった。また、委員から「一般廃棄物処理施設整備事業、業務委託料の内容について」質疑があり、当局から「今後想定される新たなごみ処理施設の整備について、候補地や施設規模などを検討するため、本市が先行して調査業務を実施するものであり、中部北環境施設組合と人事交流も行う予定である」との答弁があった。

審査結果として、議案は全て原案可決した。また、陳情3件は採択、1件は趣旨採択、1件は不採択、7件は継続審査となった。

意見書の要請事項（抜粋）

◆ 夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書 ◆

【要請事項】

1. 安全・安心の医療・介護を実現するために、医療・介護・福祉に十分な財源確保を行うこと。
2. 安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職員等の配置基準を見直し、大幅に増員すること。安定した人員確保のためにも大幅賃上げを国の責任で支援すること。
3. 長時間労働を規制し医療・介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境を改善すること。
4. 新たな感染症や災害に備えるため、公立・公的病院を拡充強化し、保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充すること。
5. 患者・利用者の負担軽減を図ること。

【あて先】

内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣



【提出者】
市民経済委員会
委員長 兼本 光治

◆ 有機フッ素化合物（PFAS）による汚染源の特定と根本解決を求める意見書 ◆

【要請事項】

1. 米軍基地内立入調査を沖縄県や地元自治体と早急に行うこと。
2. 汚染源を特定し、速やかに根本解決に向け取り組むこと。
3. 予防原則に則って、汚染源の特定から根本解決までの間、PFASの低減や除去等に関して国が恒常的に費用を負担すること。

【あて先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長

◆ 選択的夫婦別姓制度の導入に関して慎重な対応を求める意見書 ◆

【要請事項】

選択的夫婦別姓制度の導入は家族の絆や社会制度の安定性を損なう恐れが極めて強い。よって、国においては現行制度を安易に変更することなく維持することを求めるのであり、国民的議論を尽くし、慎重に慎重を重ねた対応を行うことを強く要請する。

【あて先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、法務大臣、男女共同参画担当大臣



【提出者】
天願こうや議員

意見書はHPにも公表

議決した意見書についてはうるま市議会ホームページでも公表しています。詳細について下記QRコードからご覧ください。



意見書・決議ページへ

編集後記

青い海とやわらかな潮風が心地よく感じられる季節となりました。伝統行事の賑わいや各地域行事の賑わいに触れるたび、地域の魅力と地域の温かさを改めて実感いたします。日々の暮らしの中で寄せられる皆さまの声に真摯に向き合い、その一つ一つを市政に反映できるよう行政と連携し、誰もが安心・安全で暮らせるまちづくりに全力で取り組んでまいります。日頃より賜っております。ご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

（氏名：玉城 政哉）

委員長 平良一雄 副委員長 天願久史
委員 兼本光治 眞壁朝弘 上西眞理
玉元哉世 玉城政哉 神田洋一

金城加奈栄 国吉晃